

◎福祉社会学専攻

＜博士前期課程＞

授 業 科 目	単位数 (○印は必修)	授業を行う年次	教職関連科目 (専修・福祉)
福祉社会論特講	②	1・2	□
福祉社会論研究	2	1・2	
社会福祉方法論特講Ⅰ	2	1・2	□
社会福祉方法論特講Ⅱ	2	1・2	□
社会福祉政策論特講	4	1・2	□
精神保健福祉論特講Ⅰ	2	1・2	□
精神保健福祉論特講Ⅱ	2	1・2	□
社会病理学特講Ⅰ	2	1・2	□
社会病理学特講Ⅱ	2	1・2	□
環境社会学特講Ⅰ	2	1・2	
環境社会学特講Ⅱ	2	1・2	
社会集団論特講	2	1・2	□
社会心理学特講Ⅰ	2	1・2	
社会心理学特講Ⅱ	2	1・2	
認知心理学特講Ⅰ	2	1・2	
認知心理学特講Ⅱ	2	1・2	
発達教育学特講Ⅰ	2	1・2	☆
発達教育学特講Ⅱ	2	1・2	☆
教育福祉論特講Ⅰ	2	1・2	☆
教育福祉論特講Ⅱ	2	1・2	☆
社会教育学特講Ⅰ	2	1・2	☆
社会教育学特講Ⅱ	2	1・2	☆
障害学特講Ⅰ	2	1・2	□
障害学特講Ⅱ	2	1・2	□
社会保障論特講Ⅰ	2	1・2	
社会保障論特講Ⅱ	2	1・2	
社会福祉方法論演習	4	1・2	□
社会福祉政策論演習	4	1・2	□
社会病理学演習Ⅰ	2	1・2	
社会病理学演習Ⅱ	2	1・2	
環境社会学演習Ⅰ	2	1・2	
環境社会学演習Ⅱ	2	1・2	
社会心理学演習Ⅰ	2	1・2	
社会心理学演習Ⅱ	2	1・2	
社会教育学演習Ⅰ	2	1・2	
社会教育学演習Ⅱ	2	1・2	
教育福祉論演習Ⅰ	2	1・2	☆
教育福祉論演習Ⅱ	2	1・2	☆
精神保健福祉論演習Ⅰ	2	1・2	□
精神保健福祉論演習Ⅱ	2	1・2	□
発達教育学演習Ⅰ	2	1・2	☆
発達教育学演習Ⅱ	2	1・2	☆
認知心理学演習Ⅰ	2	1・2	
認知心理学演習Ⅱ	2	1・2	
障害学演習Ⅰ	2	1・2	
障害学演習Ⅱ	2	1・2	
社会保障論演習Ⅰ	2	1・2	
社会保障論演習Ⅱ	2	1・2	
研究指導	④	2	
修士論文	—	—	

履修方法及び修了要件

1. 2年以上在学して、全授業科目の中から30単位以上を修得しなければならない。なお、本研究科の公共政策学専攻の授業科目を履修した場合、修得した単位のうち12単位までは、研究科会議の承認を得て、修了に必要な30単位に含めることができる。また本学の他研究科の授業科目を履修した場合は、修得した単位のうち8単位までを上記12単位に含めることができる。

2. 所定の30単位のうち、「福祉社会論特講」2単位、各自の研究分野に属する演習4単位、ならびに研究指導4単位の計10単位を必ず修得しなければならない。

3. 上記の30単位とは別に、指導教員の指導のもとに修士論文を提出し、修士論文の審査及び試験に合格しなければならない。

4. 高等学校教諭（福祉）の専修免許状を取得するには、修士の学位を有し、当該一種免許状を取得、または取得に必要な単位数を修得し、加えて表の「教職関連科目（専修・福祉）」（教科専門等科目（□印）と教職基礎等科目（☆印））から24単位以上修得しなければならない。なお、専修免許状の申請は、修了年度の10月初旬頃に学務課教務係に申し出ること。

< 博士後期課程 >

授 業 科 目	単位数 (○印は必修)	授業を行う年次
福祉社会学特殊研究演習Ⅰ（比較社会福祉）	4	1・2・3
福祉社会学特殊研究演習Ⅱ（社会福祉方法）	4	1・2・3
福祉社会学特殊研究演習Ⅲ（社会福祉政策）	4	1・2・3
福祉社会学特殊研究演習Ⅳ（社会病理学）	4	1・2・3
福祉社会学特殊研究演習Ⅴ（生涯発達・学習）	4	1・2・3
福祉社会学特殊研究演習Ⅵ（教育福祉専門職）	4	1・2・3
福祉社会学特殊研究演習Ⅶ（環境社会学）	4	1・2・3
福祉社会学特殊研究演習Ⅷ（精神保健福祉）	4	1・2・3
福祉社会学特殊研究演習Ⅸ（発達教育学）	4	1・2・3
福祉社会学特殊研究演習Ⅹ（認知心理学）	4	1・2・3
福祉社会学特殊研究演習Ⅺ（障害学）	4	1・2・3
福祉社会学特殊研究演習Ⅻ（社会保障論）	4	1・2・3
福祉社会学研究指導	④	1・2・3

履修方法及び修了要件

3年以上在学して、「福祉社会学研究指導」4単位ならびに研究指導を受けようとする教員が担当する「福祉社会学特殊研究演習」4単位の計8単位以上を修得し、かつ指導教員の指導のもとに必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び試験に合格すること。